

平成26年生駒市教育委員会第10回定例会会議録

1 日 時 平成26年10月27日(月) 午前9時30分～午前11時37分

2 場 所 生駒市コミュニティセンター 401会議室

3 審査事項

(1) 報告第19号 平成26年生駒市議会第4回(9月)定例会提出議案の結果について

4 出席委員

委員長	山本吉延	委員(委員長職務代理者)	村田浩子
委員	平本重次	委員	飯島敏文
教育長	早川英雄		

5 事務局職員出席者

教育総務部長	峯島 妙	生涯学習部長	影林 洋一
教育総務課長	真銅 宏	教育指導課長	吉村 茂
学校給食センター所長	平田 治樹	生涯学習課長	西野 敦
図書館長	向田 真理子	スポーツ振興課長	中田 和也
教育総務課課長補佐	井上 博司	教育指導課課長補佐	奥田 真代
生涯学習課課長補佐	錦 好見	スポーツ振興課課長補佐	黒松 裕喜伸
教育指導課指導主事	吉川 祐一	教育総務課(書記)	松井 恵

6 傍聴者 なし

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 会期及び会議時間の決定

○日程第3 諸般報告

- ・11月の行事予定について、各担当課長から報告

(質疑)

平本委員：11月7日に近畿地区青少年補導センター連絡協議会が開催されるということであるが、以前は生駒市にも青少年補導センターがあり、中学校の生徒指導をしていた際に、学校と地域社会との連携で大変お世話になった。

現在の活動はどうなっているか。

西野課長：現在、生駒市に補導センターは設置していないが、業務内容は生涯学習課が引き継いでおり、青少年指導委員127名が地域での指導・巡回活動を行っている。

平本委員：当時から補導委員はいたが、青少年センターにはさらに指導員がおり、教員が地域と密着した相談を受けられる利点があった。
現在の補導委員は生涯学習課にいてるのでなく、各地区で補導活動・進路指導をしているものと思うが、現場の教員の立場からすると、より親身になって話してもらえる場が必要ではないか。

西野課長：青少年指導委員の中には学校の先生方も入っていただいている。中学校区ごとの地域に分け、自治会やPTAから委嘱を受けた方と連携している。全体の研修会は年3～4回程度実施し、情報交換をしている。

平本委員：現場で問題があった時にすぐ駆けつける方がいない。また、相談を持っていくところがない。以前は、学校や地域で起こった問題を補導センターの指導員に相談していた。

早川教育長：平本委員の言うように、現場の問題や悩みにすぐ対応できるように、相談を受けるだけでなく、現地に出向き実態に即した解決策を探ることは大切である。

青少年補導センターはなくなったが、相談の窓口は教育支援施設にあり、現場の教員からの相談も増えている。しかし、この相談は受け身であり、現場に出て行き解決するという役割は教育指導課の指導主事が担っているのが現状である。

能動的に対応していく組織も必要ではないかという課題意識は持っている。

平本委員：教育委員会の会議の中でも学校状況についての報告を聞くが、教育指導課に負担がかかっていないか。

早川教育長：行政組織としての青少年補導センターが必要かは別問題として、生徒指導について相談できる組織が必要という意識はある。

平本委員：県内において、他市の状況はどうか。

早川教育長：生徒指導全体に対応する組織は縮小しているのではないか。

本市でも、現場とともに解決する組織は縮小されたが、青少年指導員など地域の方が以前から町環境の浄化活動に充実した取り組みを行っている。

山本委員長：これについては、また機会があれば議題に挙げてほしい。

早川教育長：市長との懇談会等でも議題としていただければ。

○日程第4 報告第19号 平成26年生駒市議会第4回（9月）定例会提出議案の結果について

- ・平成26年生駒市議会第4回（9月）定例会提出議案の結果について、教育総務課、真銅課長から説明

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○その他

- ・生駒北小中一貫校の設計について、教育総務課、真銅課長から説明

（質疑）

山本委員長：小中一貫校のコンセプトを示してもらったが、この設計の最終決定はいつごろ行うのか。

真銅課長：11月に開催する小中一貫校準備会議において、図面を委員や生駒北小学校及び中学校に示し意見を伺いながら、今年度中に基本設計を取りまとめる予定である。教育総務課と営繕課で連携して進めていく。

山本委員長：小中一貫校の理念が伝わるような、今までの学校と違う特徴はあるか。

真銅課長：生駒市は環境モデル都市であるため、全体として環境に配慮した設計になっている。また、小中学校が連携しやすく、現場の先生にも使いやすいような、学習の中でいろいろな選択肢が選べる施設にしたいと考えている。

早川教育長：学校という性質上、特色のある配置はなかなか難しいが、工夫している点といえば、普通教室の廊下側にオープンスペースを設置し、学年間や小中学校間で交流しやすいようにしたところなどが挙げられる。

村田委員：太陽光発電パネルの設置など、これからの時代の学校という感じを受ける。

しかし、小学校と中学校がただ合体しただけという感じが否めない。

オープンスペースは、他校にもあるような形か。

真銅課長：従来の学校よりゆったりした造りになっており、オープンスペースでも授業ができる。また、低学年教室の間取りも広く、落ち着いて学習できるよう工夫されている。

村田委員：準備会議を重ねるうえで、もっといろいろなアイデアが出されるか。

真銅課長：そう期待している。

飯島委員：図面にあるパーティションは可動するか。

真銅課長：低学年の教室は間取りを広く取っている（固定間仕切り）。3年から6年の教室は可動式で、間仕切りを取って広く使えるようになっているが、それ以外は固定のパーティションである。

飯島委員：昇降口をパーティションで区切れるようになっているが、地域住民の方も自由に出入りできるのか。

早川教育長：学校休業中も地域の方が多目的スペースを利用するため、関係のない部屋へつながる部分を区切れるよう設計されている。

飯島委員：フリースペースの設置が流行った時期があるが、可動式の間仕切りがかえってデメリットになったという事例があるようなので、実際にどのような運用をするかを考え、現場の意見を十分に参考にしてほしい。

早川教育長：いろいろな学校を事務局や準備委員会の委員に視察していただいて、よりよい学校をつくりたいと考えている。

村田委員：学童保育室について、児童数の増加により分割され、プレハブ保育室などにならないよう配慮してほしい。

真銅課長：学童数についての推計を出しており、おおむね40名以内で推移している。それ以上に増加することはないと考えている。

先ほど、フリースペースの間仕切りのない教室についてご指摘いただいたが、視察に行った小中一貫校でも、最初は間仕切りのないオープンスペースの教室であったが、隣の教室の音などでざわついてしまい、結局壁（間仕切り）を取り付けたという話を聞いた。その点は注意したい。

峯島部長：地域の方の間では、生駒北小中一貫校を起爆剤としてまちづくりも考えている。地域の声も聞きながら進めたい。

今回の設計業者は学校づくりには慣れているが、特に生駒北小中学校の特色を生かした設計をお願いしている。また、災害時には避難所となることも想定した設計を考えている。

今日いただいたご意見も組み入れていきたい。今後も繰り返しご意見をいただきたい。

山本委員長：体育館とプールはどうなるのか。

真銅課長：校舎は建て替えるが、体育館とプールについては現状の形を残し、小学校にも対応できるものに改修したいと考えている。

山本委員長：小中で規格が異なることがある。小中学生が混在するため、規格や安全

面に配慮してほしい。

環境への配慮に関して、地下に蓄熱システムをつくる「ジオパワー」というものがある。これは、夏の間の熱を地中に貯め冬に利用し、冬に貯めた冷気を夏に利用するというものである。大規模改修の機会に、環境を考えたジオパワーを検討してほしい。

平本委員：生駒北中学校といえば、昔は木造校舎であった。生駒北小学校も、昇降口を入ると中庭に緑が広がっていた。自然に触れられる環境で、子どもの心は自然とともに育つものである。もっと敷地にゆとりを作ってよい環境ができないか。

運動場東側の歩道は何か。

真銅課長：教員の駐車場から通用門につながる通路であり、児童生徒がグラウンドに移動するのにも使用する。

平本委員：門がたくさんあるようだが。

峯島部長：低学年の児童が安全に遊べるよう低学年運動場を設けるとするのが小学校の希望であった。そのため、校舎を西側に建て、東側に運動場を広くとる設計をしている。

門のほとんどは現在もあるものであり、増えたのは先ほどご説明した東側の門である。正門は県道側に設置する予定であり、児童生徒の動線の安全に考慮しながら進めていく。

平本委員：低学年用運動場とは広場のようなものか。

峯島部長：遊具も設置し、低学年の児童や学童の子供も遊べるようになっている。

村田委員：職員室が2階の奥まったところにある学校があるが、安全安心の面で、外からすぐ分かるところに職員室がほしいと思っていた。この設計なら、東の通用門から入る人が見えるようになっている。

山本委員長：安全安心を重視してほしい。また、ビオトープ・里山・観察できる木などもほしい。

今後も議論に参加できるようにお願いします。

・平成27年度新規主要事業施策について、教育総務部、峯島部長、生涯学習部、影林部長から説明

《 市内部の政策形成審議過程の内容のため、非公開 》

・平群町・生駒市施設相互利用に係る協定について、生涯学習部、影林部長から説明

《 市内部の政策形成審議過程の内容のため、非公開 》

・平成25年度問題行動調査の結果について、教育指導課、吉村課長から説明

《 個人情報を含む内容のため、非公開 》

- ・生駒市立学校の状況報告について、教育指導課、吉村課長から説明
 《 個人情報を含む内容のため、非公開 》

○閉会宣告

午前 11 時 37 分 閉会